

【平成30年度 運動会テーマ】

～みんなでチャレンジ 正々堂々 みんなが繋がる運動会～

5月26日（土）は、薄曇りが強い日差しを和らげてくれる中、たくさんの来賓・保護者の方々をお迎えして、盛大に運動会を行うことができました。

1・2年生のダンス「グッキー！！」は、楽しいリズムにのってかわいらしいダンスを見せてくれました。見ている人がみんな楽しい気持ち、幸せな気分になりました。

3・4年生の「大地にひびけ！ よさこいソーラン」では、元気のよいかげ声や、太鼓の音とともに、背中に自分の好きな漢字が書かれたはっぴをまとして、大きく力強く踊りました。喜びにあふれる「躍動感」が感じられました。

そして、5・6年生の「相和伝 組立体操」は、心を一つにした演技で、力強さだけではなく、しなやかさや軽快さなど様々な動きを表現しました。最後の技は、相和小学校の校歌とともに創り上げた「相和小学校・相和丸」は、見ている人全てに大きな感動を与えました。

また、徒競走やリレーでは、赤組・白組が力を出し切って競い合い、応援団を中心に精一杯の声援をおくりました。そして閉会式では、勝敗をこえて、赤組も白組も一緒になって、これからの自分たち・相和っ子にエールをおくりました。

また、「麦打唄」や「よさこいソーラン」では、ボランティアの方々に演技指導のご協力をいただきました。ありがとうございました。



1・2年「グッキー！！」



3・4年「よさこいソーラン」



5・6年「相和伝 組立体操」

開会式 学校長の話から（概略）

このテーマが、第1回児童代表委員会で、体育委員会から提案されたときに、私は、「フェアプレー」という言葉がうかびました。フェアプレーとは、「ルールを守り、相手を認めて尊重しながら、全力を尽くすこと」です。そして、全力を尽くし競い合った後には勝敗が決まります。そのときに「勝ってもおこらず、負けてもふてくされずに、互いの健闘をたたえ合う」そうした行動ができることです。競い合うというのは、勝敗を決めるだけではなく、互いの力強さ、技術の高さを認め合うことにもなるです。日本体育協会というところが、「フェアプレー7か条」というのを呼びかけています。

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|---------|
| 1 約束をまもろう | 2 感謝しよう | 3 全力をつくそう | 4 挑戦しよう |
| 5 仲間を信じよう | 6 思いやりをもとう | 7 楽しもう | |

今日の運動会では、この七つの姿がたくさん見られることを楽しみにしています。

相和小学校ならではの運動会種目



「麦打唄」(ふれあい種目) [全校児童・来賓・PTA]

相和地区に昔から伝わる麦打唄の始まりは30年ほど前にさかのぼります。当時、篠窪の「内藤良三さん」が、はりのある強い声で「麦打唄」を歌うことで、伝えていられました。これを子どもたちにも伝えたいとの内藤さんの思いを受け、30年前の相和小学校の子どもや先生たちが唄を教えてもらいました。その唄に古矢比佐子先生が中心となり、日本各地の民族舞踊を参考に、麦踏みや刈り取り、「くるり」を使った作業などを組み入れ、働くことや収穫の喜びを表現できるように、みんなで踊りも作りました。古矢比佐子先生には、毎年運動会前になると、踊りを教えてもらっています。



「竹馬！一輪車！」(特別種目) [児童希望者]

竹馬は、相和小学校が「健康・体力づくり」を進めているころ、子どもたちが、友達と豊かに関わり合いながら、外で、元気に遊ぶことができるようにと、竹馬をたくさん作り、自由に使えるようにしていました。今では、ボランティアの方々にご協力いただき、子ども全員が「マイ竹馬」を持てるようになりました。同じ頃、一輪車で遊ぶ子どももいて、竹馬・一輪車の遊びの上達を運動会で披露できないかと先生たちの思いから、「特別種目」としました。この練習は、朝や昼休みに行っていました。



「心をつなげ！相和っ子(全校リレー)」(団体種目) [全校児童]

全校児童が、4色に分かれて走ります。一人あたりトラック半周、アンカーは一周です。相和っ子全員が持てる力を出し切って、1年生から6年生まで、バトンをつなぎます。運動会の最後の得点種目で、この結果が大きく運動会の勝敗に影響します。バトンが高学年へとつながっていくと、バトンパスもスムーズになります。



さつまいも作り ~相和っ子班活動~

畝づくり・マルチ(6月1日) 5・6年生

この日、5・6年生は、昼休みから5校時にかけて、畑の畝づくりをしました。事前に地域の方に耕運機をかけていただき、担当の職員が土作りをしたため、土はふかふかでした。テープを張ったところをめやすにしまっすぐに畝を作ろうとしてもなかなかうまくいかず苦労していました。5年生は高学年の苦労を初めて体験しました。6年生は、昨年度の経験を生かしていました。



苗植え(6月4日) 全校児童

畝づくりで、5・6年生がマルチを畝にかけ、苗を植える所に竹で穴をあける所までやっておいてくれました。環境委員会から苗の植え方の説明を聞いてから、実際に苗植えをしました。5・6年生が注意していたのは、苗がすぐに抜けてしまわないかということです。1本1本丁寧に確認していました。このあと、各学年で分担して草取りの作業が計画されています。

